

## 民団運動会でテコンドー演武 10月7日 熊本県民運動公園

在日韓国民団熊本県地方本部と県日韓親善協会の共催で開催された第29回民団熊本体育祭。昨年からテコンドー演武を行っている県協会だが、今年も熊大、学園大の学生が中心となり、昼食前のプログラムで、板割りなどの演武を約15分間行った。会場からは、テコンドーのスピード感ある演武に歓声が上がった。

## 富合小学校でテコンドー教室! 10月27日 富合小学校体育館

富合支部、朴ヒョンギウ師範は、このほど、富合小学校2年生を対象としたテコンドー教室を開催した。参加した生徒達は、富合支部の子供達による板割りの演武に驚き、体験でのミット蹴りをでは、テコンドーの面白さ、楽しさを感じとったに違いない。



テコンドー教室の様子



左から永田、坂本、朴の3選手

## 富合支部3名が町体育協会から表彰! 12月2日

富合町体育協会は、この程、全日本ジュニア選手権出場、県選手権、熊日学童五輪での2位入賞等で富合支部(朴ヒョウギウ支部長)の坂本大晟、永田あおい、朴恩河の3選手に表彰状が贈られた。

地区体育協会からの表彰は、選手のやる気や、テコンドー競技の発展に大きく貢献するが、受賞した3名の選手の今後が楽しみである。

## 昇級審査会102名が受験! 12月9日 県民運動公園体育館

今年最後の昇級審査会は、県内道場、大学等から102名が受験した。受験者は、基本動作、プンセ、キョルギ等に熱心に取り組んでいた。最近では、大学生の受験者も多く、熊大、崇城大、熊本学園大の3大学から今回、30名を超えて受験したが、基本、プンセ等も各大学の監督、指導者の熱心な指導で上達が著しく全員合格となったようだ。



記念撮影

## 県内大学生忘年会盛大に! 12月15日

熊大・崇城大・熊本学園大の3大学合同の忘年会がこのほど行われ、樋口会長を初め各大学の監督等30名が参加し、約3時間にわたり、テコンドー談義、雑談等で盛り上がった。3大学は、県協会主催の競技大会等で、スタッフ要因として県協会の運営に大きく貢献している。



## 碩台支部 開設! 12月17日

平成20年に開設した碩台支部。平成23年末にオープンした本部道場に併合することとなり、最後の練習を行った。人数は少ない道場だったが、プンセを中心に週1回の練習に頑張ってきた。本部は歩いて数分と近く、今後も新しい道場での練習に励んでもらいたい。



当初の碩台支部

# テコンドーくまもと Vol.39

## TAEKWONDO KUMAMOTO

2012.9 ▶ 2012.12



熊日学童五輪 テコンドー競技開会式

## 阿蘇Aチーム(男子) 不知火チーム(女子) が初の栄冠! 第38回熊日学童オリンピックテコンドー競技 9月2日 熊本市龍田体育館



試合風景

団体戦風景

模範演武 熊本大・学園大

熊日学童オリンピックは、17競技18種目が実施されるが、本年度から正式にテコンドー競技が実施されることとなった。県内15の道場から小学生89名が出場しプンセ、キョルギに熱戦が繰り広げられた。

開会式では、樋口悦夫、県協会長のあいさつに続き、秋元俊郎・熊日事業局長が、「今年からテコンドー競技が参加し、学童五輪も盛り上がります。精一杯入賞をめざし頑張ってください」と選手を激励した。

山本悠奈(阿蘇)森永修斗(武道館)の両選手が選手宣誓した後、競技がスタート。男子14チーム、女子3チームが出場する団体戦では、大変盛り上がりとなり、白熱した戦いとなった。結果、男子決勝は阿蘇Aチームと不知火Bチームとの対戦となり、1勝1敗から阿蘇チームの米田優選手が不知火の奥村直矢に3-2で競り勝ち初の優勝を飾った。三つ巴のリーグ戦となった女子は不知火チームが初の栄冠を手にした。

閉会式では、男子団体優勝チームに、熊日学童五輪の優勝旗が秋元事業局長から渡された。翌日の熊日新聞スポーツ面には、半ページにわたり大きく大会の様子が掲載された。県協会念願のテコンドー競技の初開催に、残暑厳しい中、会場内は一段とヒートアップしていた。

## 全日本学生 阪上弘一選手初V 津田ひかる選手準V 学園大総合3位に! 9月23日 神奈川県三浦市

今年全日本学生選手権大会は、県協会からは、熊本学園大、熊本大の10名が出場した。

ここ一年、全日本選手権、全日本ジュニアを制して渡にのっている阪上弘一選手が、余裕の優勝を飾った。また、昨年度、優勝の津田ひかる選手、本田千尋選手も二連覇をかけて挑んだが、津田選手は、惜しくも決勝で敗れ準優勝に、また本田選手も3位入賞と二連覇は出来なかった。今年こそ優勝をと大会に臨んだ中山北斗選手(学園大)も激戦の階級の中で準決勝まで進んだが惜しくも敗れ3位となった。熊本大の土師正稔、神垣貴晶選手はじめ、熊本リハビリ学院の津田輝史朗選手も健闘したが、上位入賞はならなかった。学園大は、阪上選手、津田選手、中山選手、本田選手の4名が入賞し、団体総合成績で大東文化大、明治大に次ぐ3位の好成績を収めた。

学園大、熊本大と事前の強化合宿などの成果が実った大会と云えるだろう。



※大会結果の詳細はホームページに掲載

# 九州学生 個人7階級でV 団体戦は学園大がダブル優勝! 10月28日 宮崎大学体育館

第10回九州学生選手権大会は、宮崎大体育館で九州各県大学、専門学校から96名が参加して個人戦10階級、男女団体戦が行われ、県勢は個人7階級、男女団体戦を制した。サドンデスで行われた団体戦では、学園大が嬉しい男女ダブル優勝を飾った MVP には、津田輝史朗選手が、技能賞には中山北斗選手が選ばれた。

この大会は、運営すべてを学生が行う学生のための大会、全国でもブロック毎の大会は九州学生大会のみ開催されている。



熊本県チーム



-46kg 級決勝 青・津田選手(学園大)、赤・原選手(九州大)    -54kg 級決勝 赤・黒木選手(宮崎)、青・津田選手(熊本)    -63kg 級決勝 青・中山選手、赤・大畑選手    -68kg 級決勝 赤・土師選手(熊本)、青・鬼頭選手(長崎大)

# 西村 純、土師正稔選手 全日本選手権出場権を獲得 11月25日 西日本地区大会 大阪産業大学体育館



熊本県選手団

土師選手(青)

来年2月に開催の全日本選手権大会の出場権がかかる第6回西日本地区大会は、全国から108名の選手が参加して、男子7階級、女子4階級で実施された。熊本県からは、男子5名(津田輝史朗・西村純・神垣貴品・土師正稔・工藤雅生)が出場・韓国豊生高に留学中の西村純選手が -54kg級で、土師正稔選手(熊本)が -68kg級で2位となり、出場権を獲得した。

津田、神垣、工藤選手は残念ながら準決勝へ進出できず、出場権の獲得はならなかった。

# MVP は森永修斗選手・第15回県ジュニア! 11月25日 阿蘇体育館

第15回県ジュニア選手権大会は、県テコンドー発祥の地、阿蘇市内牧で、県内各道場から81名が出場して開催された。開会式では、北里勝義、県協会副会長の主催者あいさつに続き、蔵原博敏、阿蘇市議会議員は、「7月の豪雨災害では、何かとご支援いただき感謝申し上げます」とあいさつ、地元阿蘇支部の西村真利愛選手の選手宣誓の後、ブンセ、キョルギの2競技が行われた。

ブンセ競技は、個人、団体と実施され、団体では、阿蘇道場Aが優勝、武道館B、Aが2位、3位となった。キョルギの部小学生では、7月の全日本ジュニア選手権で入賞した米田優、山本悠奈等選手などを有する阿蘇道場が6階級を制し、中学生の部では、軽量級・重量級を制した武道館道場の活躍がめだった。最優秀選手には、9月の熊日学童五輪で優勝、今回、小学5・6年重量級で優勝した森永修斗選手(武道館)が、選ばれた。

閉会式では、津田佳輝、県協会常任理事が、「テコンドーはオリンピック競技としてスポーツ化されたが、礼儀、謙虚さ、感謝を重んじる武道としてのテコンドーを忘れる事のない様に」と講評を述べた。



試合風景

蔵原博敏、阿蘇市議会議員の来賓あいさつ



記念撮影

# 県民体育祭で表彰 阪上弘一選手 9月15日 菊池総合体育館

第67回県民体育祭は菊池郡市、合志市などの会場で34競技が実施されるが、菊池総合体育館で行われた開会式は、初の屋内での開会式となり県内市町村から選手が入場、盛大に開催された。

県体育協会からのスポーツ優秀者には、宇土市体育協会推薦の学園大所属、阪上弘一選手が一人の受賞となり甲斐隆博県体育協会会長から賞状が授与された。全日本ジュニア、全日本選手権などでの優勝が評価され、今回の嬉しい受賞となった。



阪上弘一選手

# 樋口清輝支部長、晴れて挙式! 10月8日 エルセレモ熊本

樋口清輝・武道館支部長、TKUのフリーアナウンサー高橋久美子さんの結婚式、披露宴がこのたび242名の出席の中、盛大に行われた。

佐藤義興阿蘇市長、筑紫汎三県協会相談役の祝辞の後、県協会によるテコンドー演武も行われた。韓国、留学時代の恩師である豊生高の李キョンベ先生、啓明大学の崔成坤先生も韓国から出席し華を添えた。また、新婦久美子さんがドレス姿での板割を披露、新郎 清輝支部長のギター引き語り等、終始和やかな披露宴となった。お二人の末永い幸せを祈りたい。



披露宴の様子



日本刀でケーク入刀



# 後期理事会開催 10月20日 県協会本部道場

県協会後期理事会が行われ、理事10名が出席、前期活動報告、後期行事計画などが審議された。

樋口会長からは、今年3月、新聞、ネット等で明らかになったJOCコーチ謝金問題の件について詳しい説明がなされた。

後期理事会の様子

# 第3回黒帯研修会を開催 10月21日 託麻北地域コミュニティセンター

平成22年から開催している黒帯研修会、今回、ジュニアから一般までの15名が参加して行われた。午前中、樋口会長によるセミナーでは、黒帯としての心構え、テコンドーの歴史等が話された。午後は、基本動作、ブンセ等の実技が行われ、参加者は熱心に取り組んでいた。県協会では、今後も研修会を開催し、黒帯取得者の教育に力を注いで行くことでテコンドー一人としての精神面での向上に繋がる研修会となりそうだ。



セミナー(テコンドーとは・歴史)



ブンセ講習



修了証書授与



記念写真